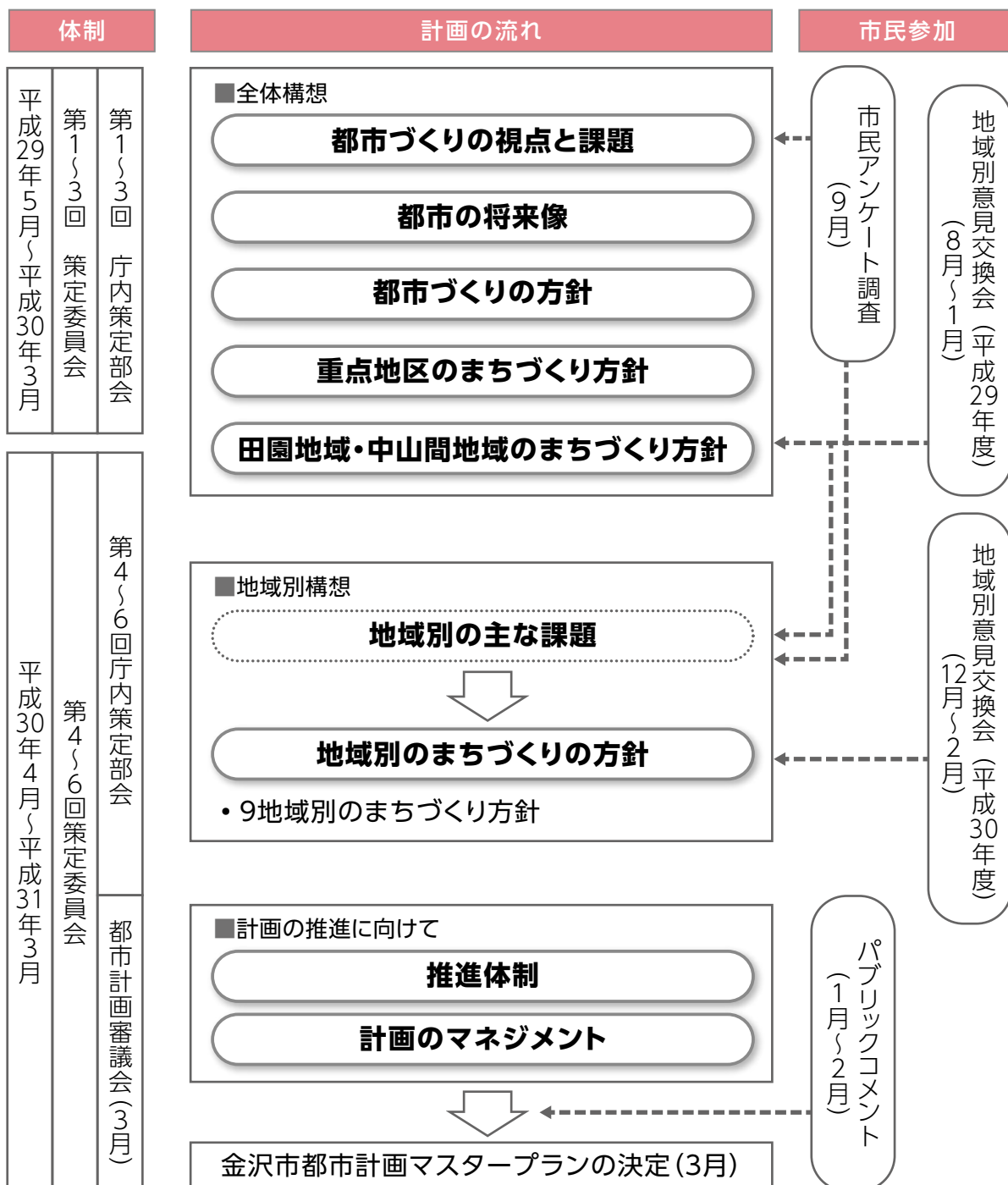


参考資料

1. 金沢市都市計画マスタープラン策定経過と策定体制

■ 策定経過



■ 金沢市都市計画マスタープラン策定委員会(16名)

【委員名簿】

氏名	所属	備考
川上 光彦	金沢大学名誉教授	委員長 学識
川崎 寧史	金沢工業大学教授	学識
高山 純一	金沢大学教授	学識
辰島 幹博	金沢市農業協同組合常務理事	団体・市民(農業)
玉田 善明	金沢商工会議所都市問題委員長	団体・市民(経済・商工)
俵 希實	北陸学院大学教授	学識
鏑 隆弘	金沢美術工芸大学教授	学識
中本 保 (西村 信彦)	金沢市町連合会副会長	団体・市民(町会)
西野 辰哉	金沢大学准教授	学識
宮岸 武司	公益社団法人石川県バス協会副会長	団体・市民(交通)
本谷 悦子	金沢市校下婦人会連絡協議会副会長	団体・市民(女性)
黒崎 敏男	公募	団体・市民(市民)
山根 ひとみ	公募	団体・市民(市民)
安達 志郎 (澤山 雅則)	国土交通省金沢河川国道事務所副所長	行政
竹俣 隆一 (松田 洋一郎)	石川県土木部技監	行政
新谷 和幸	石川県農林水産部次長	行政

※敬称略、順不同 ※括弧書きは前任の委員 ※平成31年3月現在

■ 金沢市都市計画マスタープラン庁内策定部会(26課)

局名	課名
都市政策局	企画調整課、交通政策課、歩ける環境推進課
総務局	行政経営課
文化スポーツ局	文化財保護課、歴史都市推進課
経済局	商工業振興課、企業立地課、観光政策課
農林局	農業水産振興課、森林再生課
市民局	市民協働推進課
福祉局	福祉総務課
保健局	健康政策課
環境局	環境政策課
都市整備局	景観政策課、緑と花の課、市街地再生課、住宅政策課、建築指導課
土木局	道路建設課、内水整備課
危機管理監	危機管理課
教育委員会	教育総務課
消防局	消防総務課
企業局	建設課

※平成30年度の局名・課名で掲載

※上記以外にも計画に関連する担当部局と個別の協議・検討を実施

2. 市民参加に関する取組

■ 市民アンケート調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、「金沢市都市計画マスタープラン」の改定にあたり、社会経済情勢などの変化に対応したまちづくりを進めるため、居住地区周辺の身近なまちづくりや市全体の都市づくりに対する市民の意識を調査し、本計画策定に係る基礎資料とすることを目的に実施した。

2) 調査方法

- 調査対象者：市内に居住する20歳以上の世帯主(男女)
- 抽出方法：無作為に抽出
- 配布・回収方法：郵送による配布。返信用封筒による回収
- 調査期間：平成29年9月11日～9月22日

3) 配布・回収状況

- 配付数:10,000票／回収数:4,805票／回収率:48.1%

4) 集計について

- 百分率の基数は、回答者数4,805人を100%とした。
- 図表中の百分率の数値は、小数点第2位で四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の場合は、回答者数4,805人のうち何人の方が、そのように考えているかを表す趣旨から、百分率を合計すると100%を超える場合がある。
- 要求回答数を超えるなど、設問の要求形式に沿わない回答を無効とした。また、無回答・無効は合わせて不明として表示している。

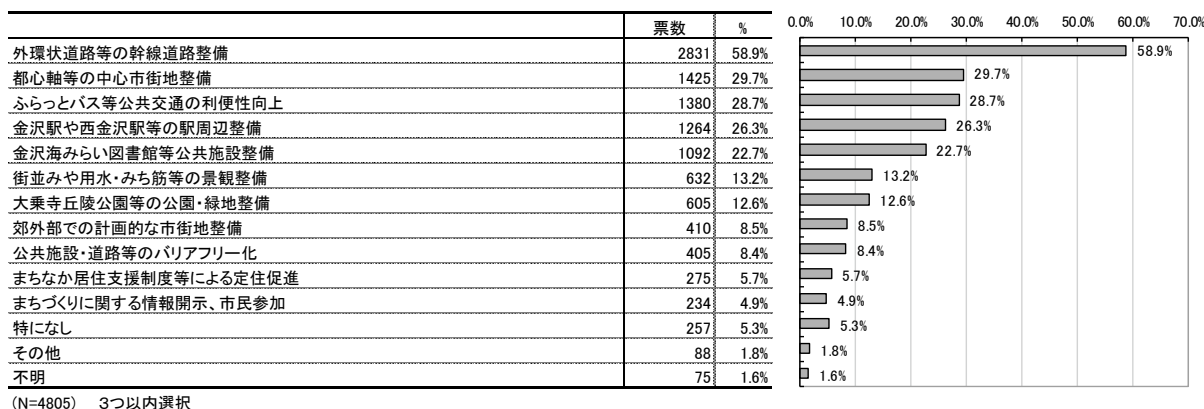
5) 設問内容

- 問1. 居住地区及び周辺的生活環境に対する満足度について
- 問2. 居住地区の印象について
- 問3. 快適な生活をするうえで、居住地区で解決が急がれる問題について
- 問4. 居住地区のまちづくりについて思うことについて(自由回答)
- 問5. 過去約10年間の金沢市におけるまちづくりの取り組みに対する評価について
- 問6. 今後の金沢市のまちづくりで重視してほしい取り組みについて
- 問7. 金沢市全体の将来像について
- 問8. 金沢市をもっと住みよくするために必要なことについて(土地利用、市街地整備、交通、公園・緑地、自然・都市環境、景観、防災、その他市民生活を支える施設)
- 問9. 金沢市が成熟都市として持続的に発展するために目指すべき方向性について(市街化展開、交通、地域間の絆・支え合い、観光都市金沢、金沢市集約都市形成計画)
- 問10. 性別
- 問11. 年齢
- 問12. 居住地町丁名
- 問13. 居住年数
- 問14. まちづくり活動への参加の形について
- 問15. まちづくりへの意見・要望等について(自由回答)

6) 主なアンケート結果

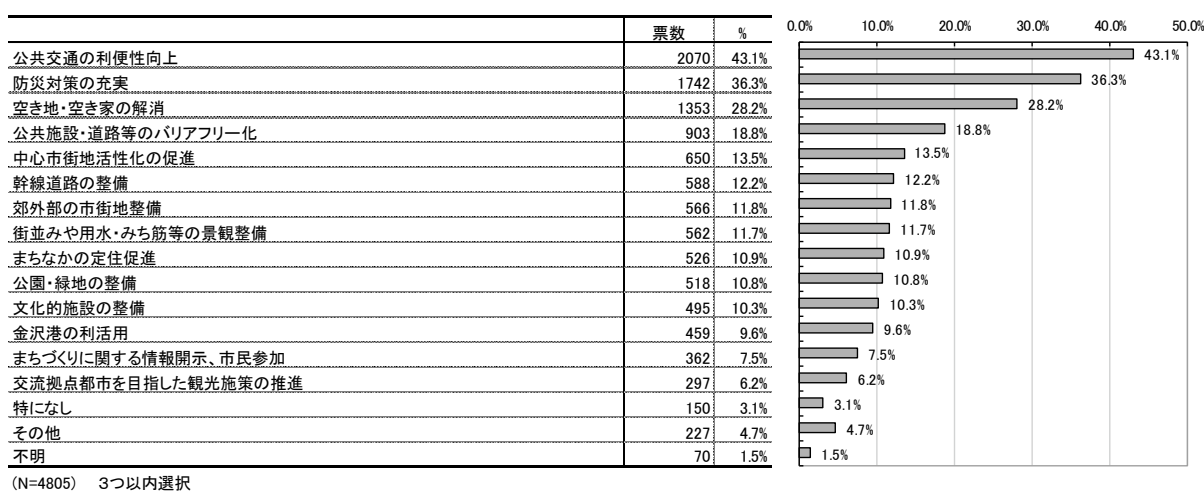
問5. 過去約10年間の金沢市におけるまちづくりの取り組みに対する評価について

○特に幹線道路や中心市街地の整備、公共交通の利便性向上が評価されており、今後はこれらの都市基盤の有効活用が期待されます。



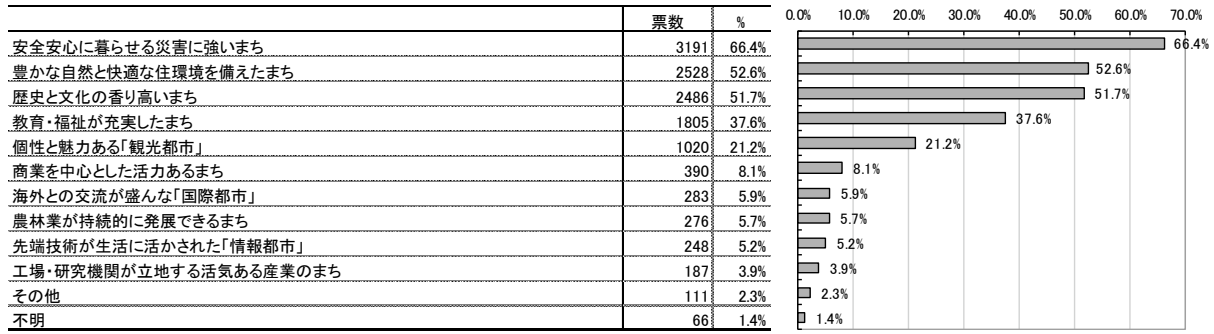
問6. 今後の金沢市のまちづくりで重視してほしい取り組みについて

○今後は、公共交通の利便性向上、防災対策の充実、空き地・空き家の解消などを重視すべきとの声が多くなっています。



問7. 金沢市全体の将来像について

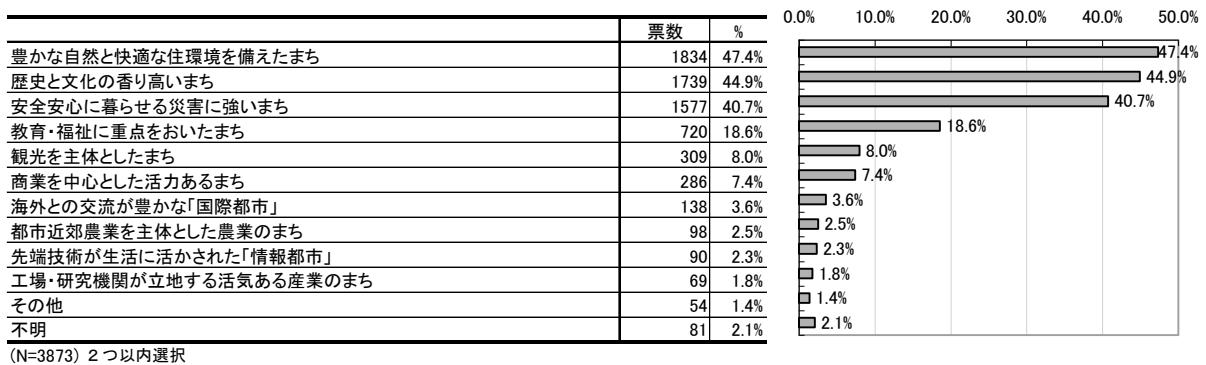
○安全安心に暮らせる災害に強いまち、豊かな自然と快適な住環境を備えたまち、歴史と文化の香り高いまちを望む声が高まっています。



<10年前の市民意向との比較:金沢市全体の将来像について>

前回第3位であった「安全安心に暮らせる災害に強いまち」が今回第1位となり、前回第1位、第2位の「豊かな自然と快適な住環境を備えたまち」、「歴史・文化の香り高いまち」が今回は第2位、第3位と、3位以内の順位は変わらない結果となりました。

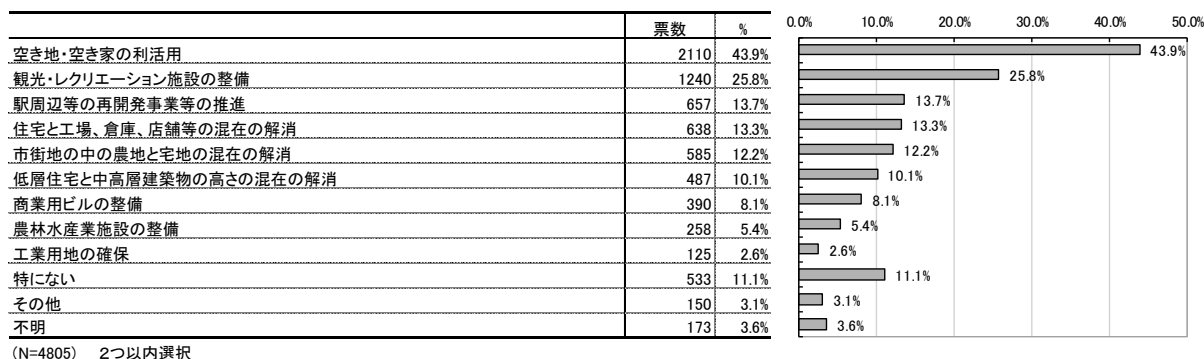
市民の抱く本市の将来像は、幹となる項目は変わらないながらも、激甚化する災害を背景に安全安心への関心が高まっていることがわかる結果となりました。



問8. 金沢市をもっと住みよくするために必要なことについて

○少子・高齢化への対策として、空き地・空き家の利活用、バスの利便性向上と利用促進などが求められています。また災害の激甚化に備えて、防災対策・耐震化の推進、災害時の避難場所等防災拠点の整備、水害、土砂災害等の危険箇所の整備などにも多くの意見が集まっています。

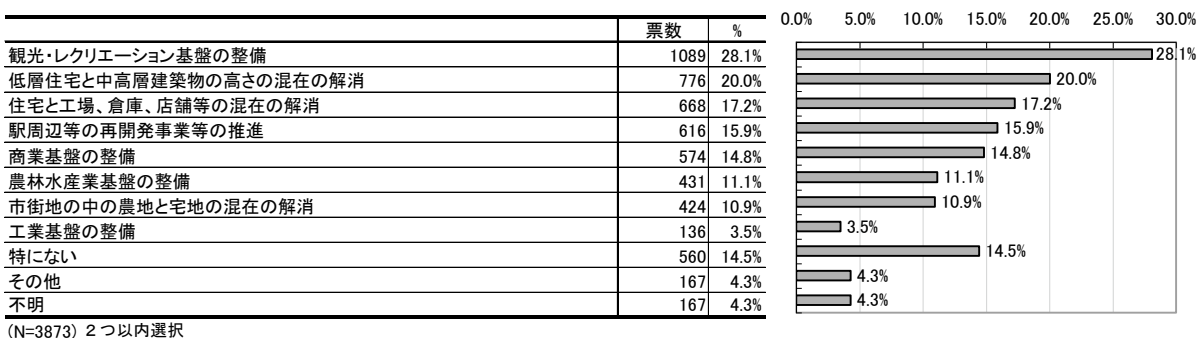
①土地利用



<10年前の市民意向との比較:土地利用>

10年前の市民意向では、「観光・レクリエーション基盤の整備」が最も多く選択されていましたが、今回は第2位となっています。

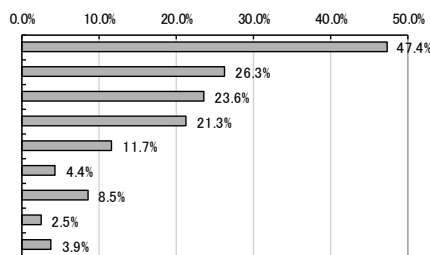
今回選択肢に加えた「空き地・空き家の利活用」が、第2位に20ポイント近い差をつけて第1位となり、急増する空き地・空き家への対策が強く求められていることが明らかになりました。



②市街地整備

	票数	%
防災対策・耐震化の推進	2276	47.4%
商店街等近隣商業地の活性化と整備	1264	26.3%
中心市街地の活性化と重点的整備	1135	23.6%
都心軸の積極的な整備	1025	21.3%
交通基盤を中心とした物流拠点の整備	563	11.7%
先端技術を中心とした工業地の整備	211	4.4%
特にない	410	8.5%
その他	120	2.5%
不明	185	3.9%

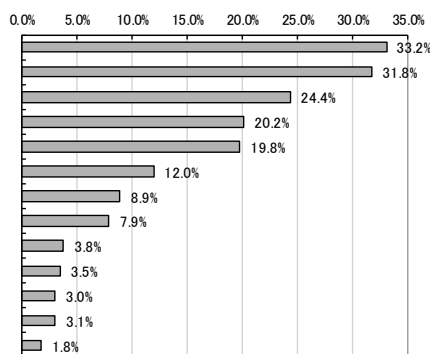
(N=4805) 2つ以内選択



③交通

	票数	%
バスの利便性向上と利用促進	1593	33.2%
生活道路の整備	1526	31.8%
歩行者・自転車・公共交通優先政策の展開	1171	24.4%
交通安全対策の推進	969	20.2%
新しい交通システムの導入	952	19.8%
駐車場の整備	576	12.0%
幹線道路網の増強	429	8.9%
国際港としての金沢港の整備	381	7.9%
鉄道の利便性向上と利用促進	184	3.8%
パーク＆ライドの整備と利用促進	168	3.5%
特にない	146	3.0%
その他	148	3.1%
不明	86	1.8%

(N=4805) 2つ以内選択

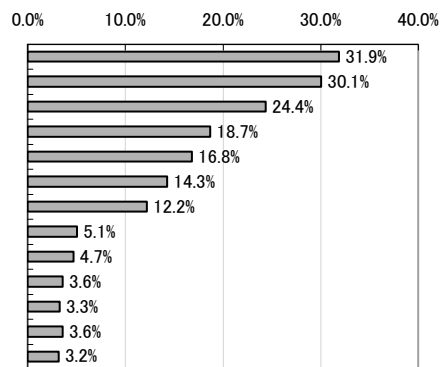


<10年前の市民意向との比較:交通>

前回第2位であった「バスの利便性向上と利用促進」が今回第1位となり、前回第1位の「生活道路の整備」が今回第2位に後退しました。バス交通への期待の高まりが一段と浮き彫りになりました。また、「歩行者・自転車・公共交通優先政策の展開」が必要とする意見が前回よりも順位を3つ上げており、こちらからも公共交通への期待と、歩けるまちづくりへのニーズが読み取れます。

	票数	%
生活道路の整備	1235	31.9%
バスの利便性向上と利用促進	1164	30.1%
交通安全対策(ガードレール、スロープ、カーブミラーの設置等)	944	24.4%
駐車場、駐輪場の整備	725	18.7%
新しい交通システムの導入	651	16.8%
歩行者・公共交通優先政策の展開	553	14.3%
幹線道路網の増強	474	12.2%
鉄道の利便性向上と利用促進	196	5.1%
国際港としての金沢港の整備	182	4.7%
パーク＆ライドの整備と利用促進	140	3.6%
特にない	127	3.3%
その他	140	3.6%
不明	123	3.2%

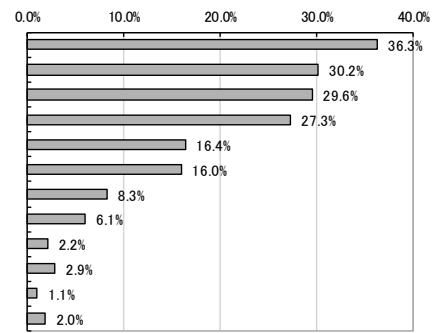
(N=3873) 2つ以内選択



④公園・緑地

	票数	%
災害時の避難場所等防災拠点	1744	36.3%
緑や花等自然の豊かさ	1451	30.2%
運動や憩い・休養等健康増進の場	1421	29.6%
子どもの遊びや運動の場	1313	27.3%
地域のコミュニティや交流の場	789	16.4%
歴史や文化、景観の活用	770	16.0%
まちを彩る街路樹の整備	399	8.3%
カフェ・レストラン等の設置	292	6.1%
住宅・事業所の周りや屋上・壁面の緑化推進	105	2.2%
特にない	141	2.9%
その他	53	1.1%
不明	94	2.0%

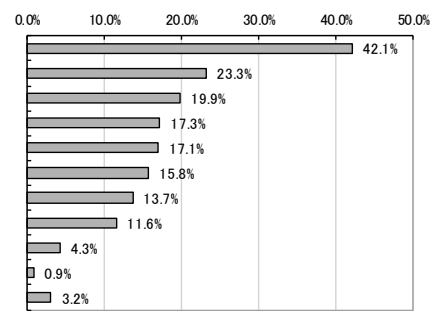
(N=4805) 2つ以内選択



⑤自然・都市環境

	票数	%
犀川・浅野川等の河川環境の保全	2025	42.1%
緑豊かな森林環境の保全	1119	23.3%
資源のリサイクル等の推進	956	19.9%
耕作放棄地の解消等の農地の保全	830	17.3%
日本海に面する海岸の保全	821	17.1%
再生可能エネルギー等の導入促進	760	15.8%
宇辰山や台地の斜面緑地の保全	660	13.7%
環境教育の推進	559	11.6%
特にない	206	4.3%
その他	43	0.9%
不明	152	3.2%

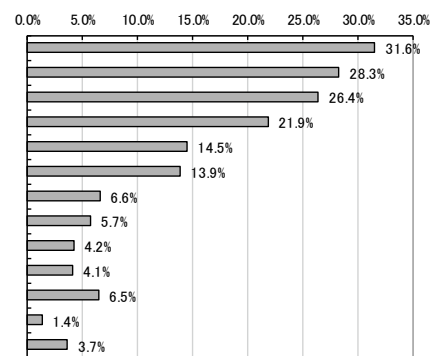
(N=4805) 2つ以内選択



⑥景観

	票数	%
歴史景観の保全と創出	1516	31.6%
自然景観の保全	1360	28.3%
歴史的な建造物や樹木等の保全	1269	26.4%
沿道や河川沿いの街並み景観の保全・形成	1050	21.9%
屋外広告物の高さ、形、色等の誘導・規制	698	14.5%
建物の高さ、形、色等の誘導・規制	667	13.9%
市民・事業者等の自主的な活動の支援	317	6.6%
眺望景観の保全	275	5.7%
近代的景観の創出	204	4.2%
夜間景観の形成	198	4.1%
特にない	312	6.5%
その他	65	1.4%
不明	177	3.7%

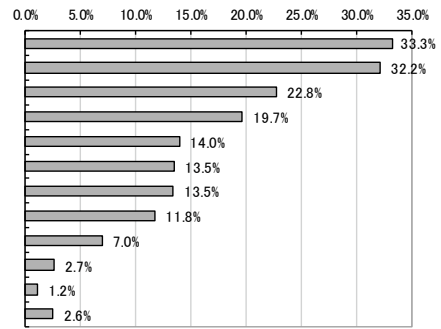
(N=4805) 2つ以内選択



⑦ 防災

	票数	%
水害、土砂災害等の危険個所の整備	1599	33.3%
老朽化した空き家の解消	1545	32.2%
避難場所の充実	1094	22.8%
電気、ガス、上下水道等ライフラインの強化	947	19.7%
自然災害予測、広報周知体制の強化	672	14.0%
避難経路となる道路の整備	651	13.5%
建物の耐震化・不燃化	647	13.5%
木造密集地の改善	567	11.8%
防災訓練等の取り組みの強化	335	7.0%
特にない	128	2.7%
その他	56	1.2%
不明	124	2.6%

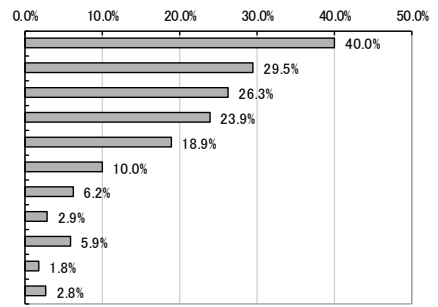
(N=4805) 2つ以内選択



⑧ その他市民活動を支える施設等

	票数	%
老人福祉施設の充実	1924	40.0%
生涯学習・スポーツ施設の充実	1417	29.5%
医療環境の充実	1262	26.3%
買い物(日常的なもの)環境の充実	1148	23.9%
子育て施設の充実	908	18.9%
障がい者福祉施設の充実	480	10.0%
公的な住宅の充実	299	6.2%
買い物(特別なもの)環境の充実	141	2.9%
特にない	282	5.9%
その他	86	1.8%
不明	133	2.8%

(N=4805) 2つ以内選択



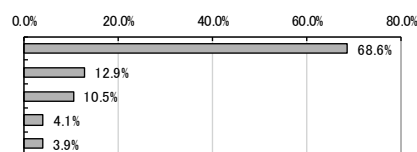
問9. 金沢市が成熟都市として持続的に発展するために目指すべき方向性について

○むやみな市街地拡大の抑制、車に過度に依存しない交通体系、地域の絆への支援、市民中心のまちづくりが必要との意見が多数を占めています。集約都市形成計画については、7割近くが知らないと答えており、周知に向けた努力が必要です。

①市街地展開

	票数	%
むやみな市街地拡大は避け、現在の市街地の充実を図る	3295	68.6%
積極的に郊外部の開発を進め、新市街地の整備を図る	619	12.9%
どちらとも言えない	505	10.5%
できるところから市街地の縮小を行っていく	197	4.1%
不明	189	3.9%

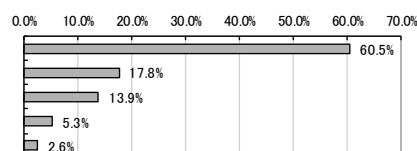
(N=4805) 1つ選択



②交通

	票数	%
自家用車に過度に依存せず、公共交通等での移動が便利なまちづくりを進める	2905	60.5%
新しい交通システムを都市の基幹的な交通手段として、まちづくりと一体的に整備する	855	17.8%
車社会に対応し、自家用車での移動がスムーズなまちづくりを進める	668	13.9%
どちらとも言えない	253	5.3%
不明	124	2.6%

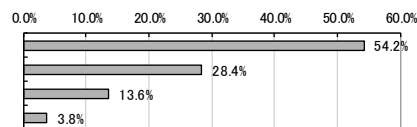
(N=4805) 1つ選択



③地域間の絆・支えあい

	票数	%
地域の住民間の絆を深めるのを支援すべき	2606	54.2%
どちらとも言えない	1366	28.4%
個々の生活にできるだけ干渉すべきではない	652	13.6%
不明	181	3.8%

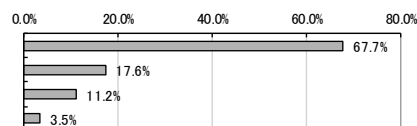
(N=4805) 1つ選択



④観光都市金沢

	票数	%
歴史性をふまえ市民中心のまちづくりを進めることが、観光都市金沢につながる	3255	67.7%
積極的に観光都市金沢を目指すべき	845	17.6%
どちらとも言えない	538	11.2%
不明	167	3.5%

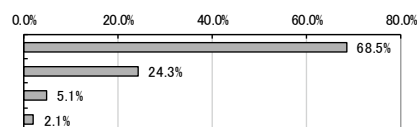
(N=4805) 1つ選択



⑤金沢市集約都市形成計画の認知度

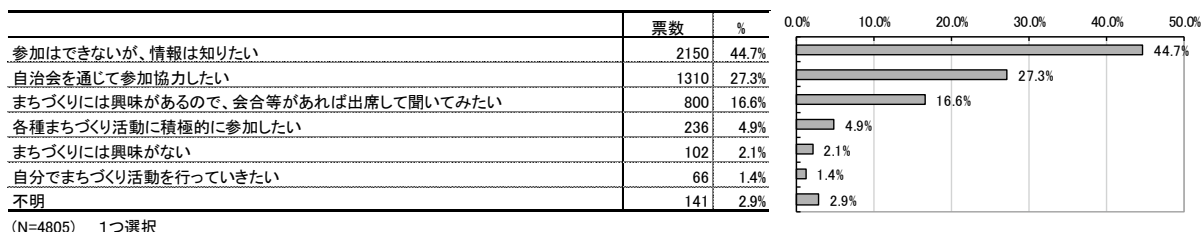
	票数	%
知らない	3292	68.5%
聞いたことはある	1167	24.3%
知っている	243	5.1%
不明	103	2.1%

(N=4805) 1つ選択



問14. まちづくり活動への参加の形について

○情報提供や市民のまちづくりへの参加意欲高揚による、協働で進める都市づくりの積極的推進が必要です。



(N=4805) 1つ選択



<10年前の市民意向との比較:まちづくり活動への参加の形について>

10年前の市民意向と同様、「参加はできないが、情報は知りたい」という回答が圧倒的に多く、市民のまちづくりへの参加意欲は、残念ながら向上しているとは言い難い状況にあります。

積極的に参加したい、まちづくりには興味があるという市民も少ないながらもいることから、情報の公開・PRを積極的に進めながら、今後も引き続きまちづくりへの参加機会を提供し、市民等と協働で進めるまちづくりの実現を目指すことが必要と言えます。



(N=3873) 1つ選択

問1. 地域別:居住地区及び周辺的生活環境に対する満足度について

☆無着色地域
 評価が満足傾向の地域(評価指数※が“+”の地域)

★着色地域
 評価が不満傾向の地域(評価指数が“-”の地域)
 うち、評価指数が市平均以上の地域：**青色**
 評価指数が市平均未満の地域：**黄色**

※ 評価指数

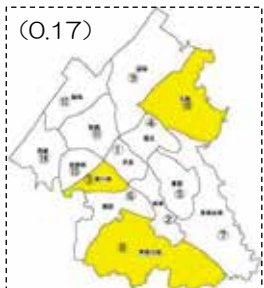
$$= \frac{\text{満足} \times 2 + \text{ほぼ満足} \times 1 + \text{普通} \times 0 + \text{やや不満} \times (-1) + \text{不満} \times (-2)}{\text{回答数}}$$

市平均の
 評価指数

住宅周辺の道路の整備状況 (0.20)

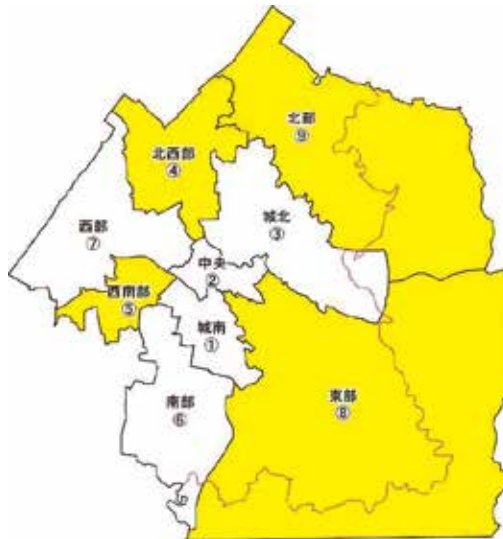


10年前の市民意向



(0.17)

公共交通の便利さ (0.15)



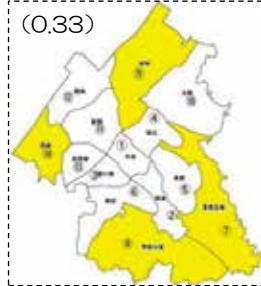
10年前の市民意向

調査なし

通勤の便利さ (0.33)



10年前の市民意向



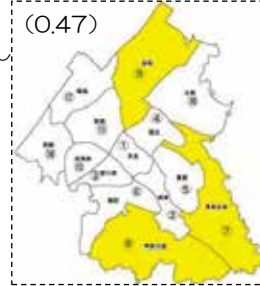
(0.33)

買い物の便利さ(日常的なもの) (0.53)



10年前の市民意向*

※10年前の項目は
「買い物の便利さ」
日常的・特別の区別なし



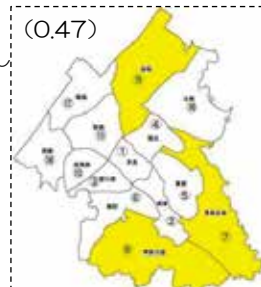
(0.47)

買い物の便利さ(特別なもの) (0.21)



10年前の市民意向*

※10年前の項目は
「買い物の便利さ」
日常的・特別の区別なし

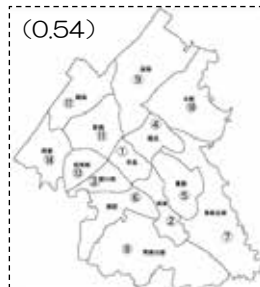


(0.47)

自然・緑の豊かさ (0.51)



10年前の市民意向



(0.54)

公園・緑地の整備状況 (0.35)



10年前の市民意向

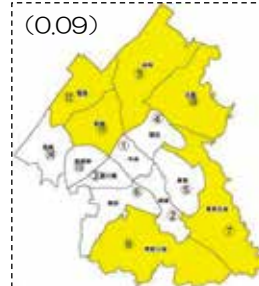


(0.16)

河川の整備状況 (0.21)



10年前の市民意向



(0.09)

まちなみ景観の整備状況 (0.17)

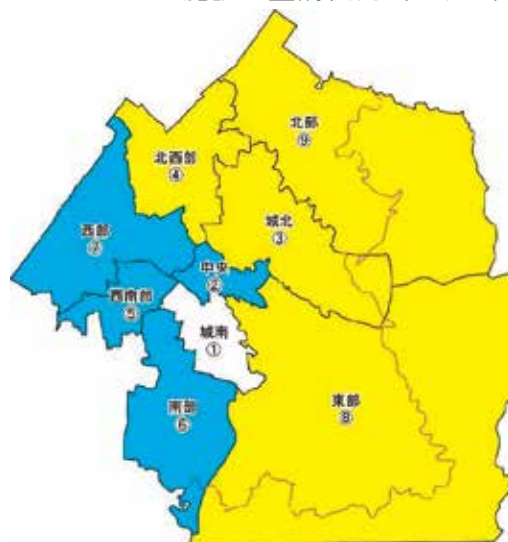


10年前の市民意向

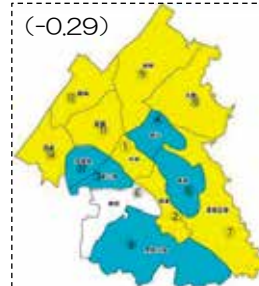


(0.04)

スポーツ施設の整備状況 (-0.12)



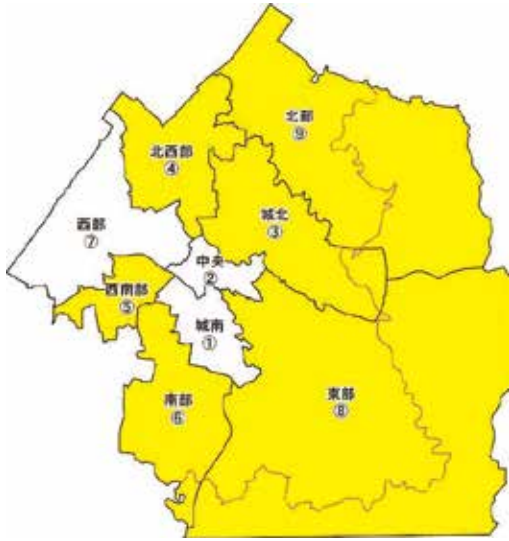
10年前の市民意向



(-0.29)

参考資料

文化・教養施設の整備状況 (0.00)

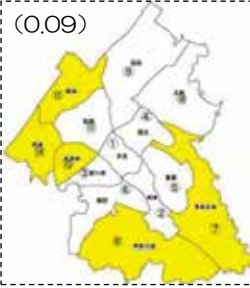


医療環境 (0.45)



10年前の市民意向*

*10年前の項目は「医療施設の量と質」

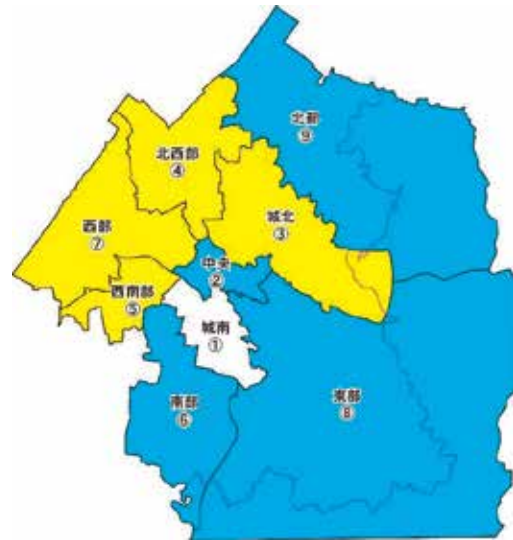


子育て施設(児童館等)の整備状況 (0.09)

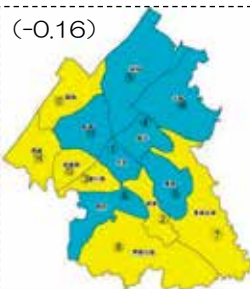


10年前の市民意向
調査なし

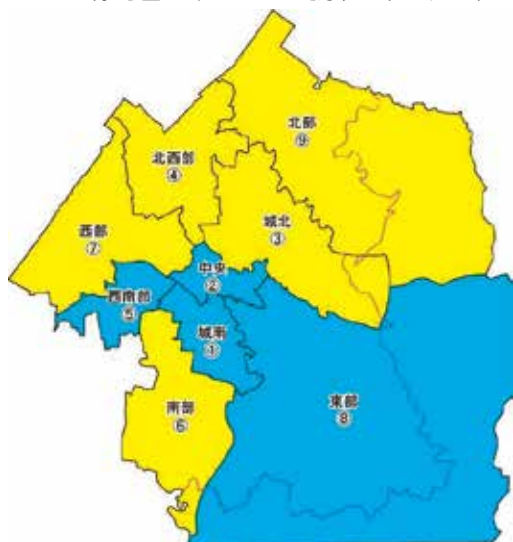
福祉施設(老人・障がい者)の整備状況 (-0.09)



10年前の市民意向

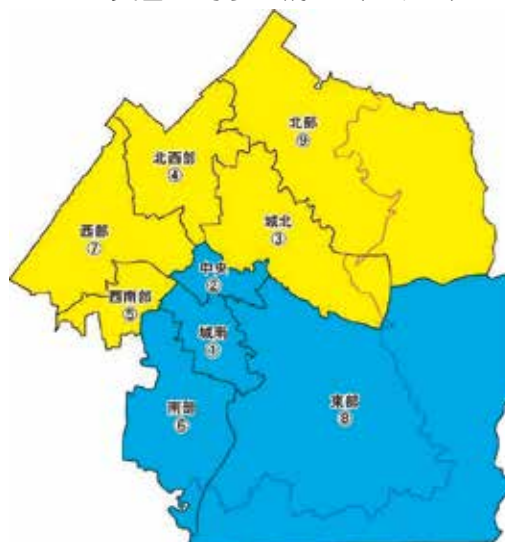


観光客と住民との調和 (-0.11)

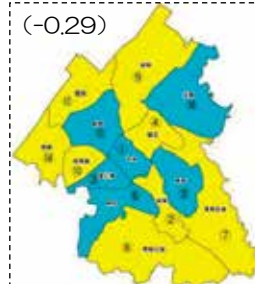


10年前の市民意向
調査なし

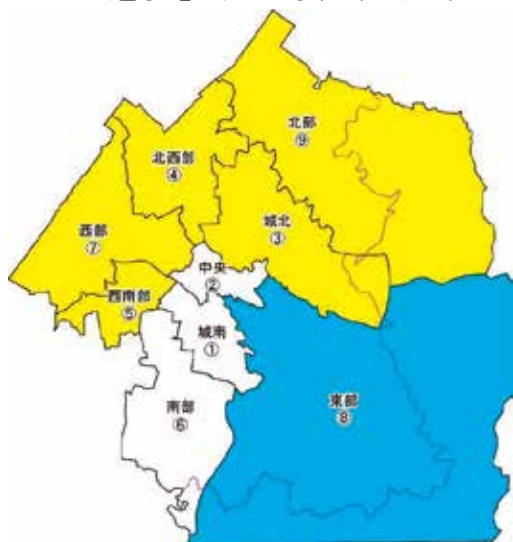
災害に対する備え (-0.24)



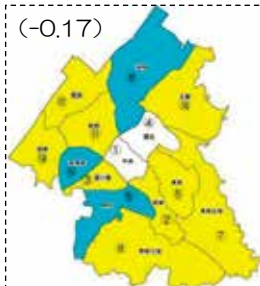
10年前の市民意向



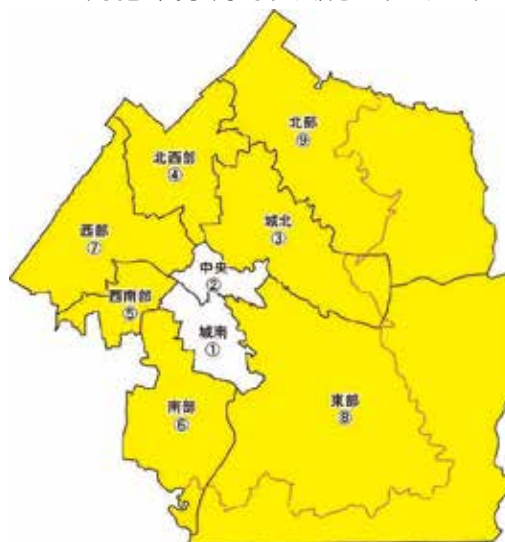
通学路の安全対策 (-0.05)



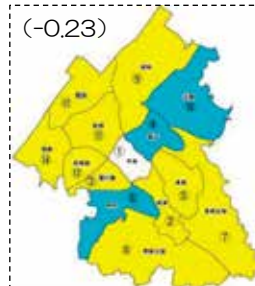
10年前の市民意向



防犯環境(街灯、風紀) (-0.03)



10年前の市民意向



参考資料

近所付き合い (0.13)



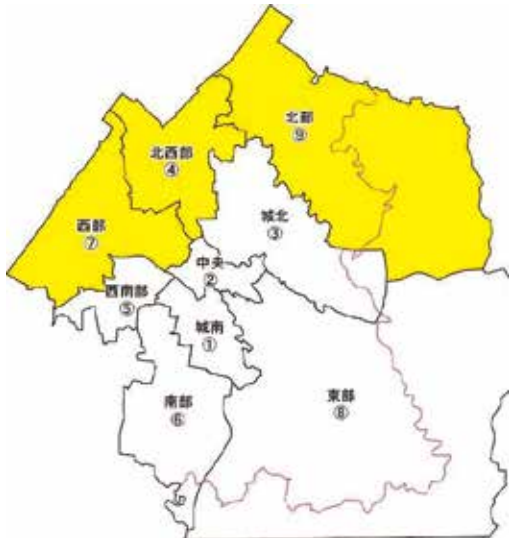
10年前の市民意向
調査なし

組織活動(町会・消防団等) (0.15)

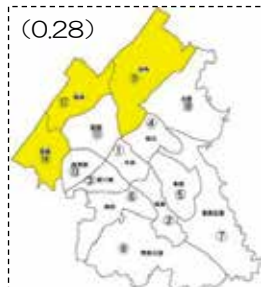


10年前の市民意向
調査なし

水のきれいさ(川、水路) (0.18)



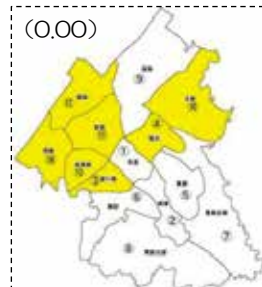
10年前の市民意向



振動・騒音 (0.09)



10年前の市民意向

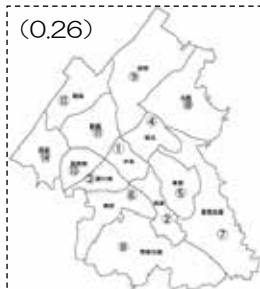


総合的に見た生活環境 (0.29)



10年前の市民意向

(0.26)



■ 地域別意見交換会

地域別意見交換会は、各ブロック別に、平成29年度及び平成30年度にそれぞれ開催しました。また、各校下・地区からの要請に応じて、校下・地区別の意見交換会を開催し、地域のまちづくりに関する課題や将来のあり方などについて意見交換を実施しました。

【平成29年度】

ブロック別開催状況			校下・地区別開催状況		
日時	地域	参加人数	日時	校下・地区	参加人数
H29.8.8	西部地域	60人	H29.8.25	安原地区	51人
H29.8.9	北西部地域	36人	H29.9.5	三谷地区	30人
H29.8.17	中央地域	40人	H29.10.4	薬師谷地区	34人
H29.8.18	北部地域	60人	H29.10.18	花園地区	34人
H29.8.21	西南部地域	56人	H29.11.5	内川校下	27人
H29.8.22	城北地域	53人	H29.11.8	千坂校下	33人
H29.8.23	東部地域	71人	H29.11.13	花園地区	22人
H29.9.13	南部地域	33人	H29.11.27	夕日寺校下	31人
H29.9.25	城南地域	36人	H29.11.28	湖南地区	18人
			H29.12.20	湯涌校下	35人
			H29.12.26	花園地区	8人
			H30.1.16	弥勒町会	13人
			合計	21回	781人

【平成30年度】

ブロック別開催状況			校下・地区別開催状況		
日時	地域	参加人数	日時	校下・地区	参加人数
H30.12.11	南部地域	39人	H31.1.24	千坂校下	14人
H30.12.17	城南地域	15人	H31.2.12	花園地区	10人
H30.12.18	中央地域	45人	H31.2.18	馬場校下	19人
H30.12.26	西南部地域	53人	H31.2.20	湯涌校下	37人
H30.12.27	城北地域	35人	H31.2.26	薬師谷地区	42人
H31.1.7	西部地域	78人	H31.2.27	内川校下	32人
H31.1.10	北西部地域	81人			
H31.1.17	北部地域	46人			
H31.1.22	東部地域	72人			
			合計	15回	618人

■ パブリックコメント

1) 募集期間 平成31年1月28日(月)～平成31年2月2日(土)

2) 募集期間 金沢市都市計画マスタープラン改定骨子(案)について

3) 意見者数・総意見数 3人・5件

4) 主な意見(要旨)

【安全安心に関する意見】

- 昨年の大雪を受けて、雪害対策の視点が抜けているのではないか。

■ 回答

- 「3-7安全安心な都市づくりの方針」において、「雪害対策の推進」として盛り込み済み。

【交通政策に関する意見】

- 国道157号などの再開発や道路拡幅に際して、新しい交通システムを見越した空間を確保してほしい。
- 北陸鉄道浅野川線の各駅にミニ駅前広場を整備してほしい。
- 北陸鉄道石川線額住宅駅前から野々市市役所への直線道路整備など周辺市町と連携した交通政策を行ってほしい。

■ 回答

- 新しい交通システムは、超高齢社会や人口減少社会に対応した公共交通ネットワークの幹として、本市のまちづくりに不可欠な都市の装置であると考えている。現在、導入に向けた環境を整えるため、様々な課題の解決に鋭意取り組んでいるところである。
- また、鉄道線を含めた公共交通の利用促進に向け、交通事業者と連携し利用環境の整備などの利便性向上に取り組んでいるところである。
- 石川中央都市圏ビジョンにおいて、地域鉄道などの公共交通の利用促進に隣接市町と連携して取り組むなど、地域公共交通の充実に努めることとしている。
- いただいた意見については、今後の参考とさせていただきます。

【市街化調整区域のあり方に関する意見】

- 人口減少、高齢化、若年層の農業離れ、地域コミュニティの衰退などが進行する中で、農業の担い手不足への対応や新たな住民の定住などを図る観点から、農業振興策の推進と合わせて市街化調整区域での地区計画制度などの政策を求める。

■ 回答

- 人口減少社会における定住の促進は、市全体としての重要な課題である。とりわけ近年、農林業の持続的な発展や集落環境の維持、再生が課題となっていることから、既存集落を対象とした開発や建築規制のあり方の見直しなどについて、都市計画マスタープランの中に盛り込み、検討を進めていく。

3.用語の説明

【ア行】

IoT

モノがインターネットでつながり情報交換できる新たなサービス。(Internet of Things)

ICT

人やモノをつなげるITを使った情報伝達技術。(Information and Communication Technology)

アセットマネジメント

既存ストックを資産としてとらえ、資産管理の効率的な運用を行うこと。公共事業により整備された施設などの維持管理、補修を効率的に行うことで、施設劣化をコントロールして、施設全体に発生する経費の平準化などを行う。

新しい交通システム

既存の交通機関の輸送力や交通需要への対応、経営上の問題点を克服するために開発された、バスと鉄道の間での輸送力を持つ新しい交通機関。

アドプト制度

市民などが身近な公共空間である公園などの里親となって、公園などの利用及び美化を促進し、まちづくりに対する市民の意識の高揚を図るため平成17年度より導入された制度。

AI

人間の知的能力をコンピュータ上で実現する様々な技術。(ArtificialIntelligence)

NPO

NonProfit Organizationの略語で、民間非営利組織を意味する。営利を目的とせず公益的な市民活動を行う民間団体の総称。

延焼遮断空間

一定規模の市街地の外周を囲むように、帯状の都市施設である道路・河川・鉄道及び公園などを有機的に組み合わせ、延焼火災を分断する空間。

【カ行】

金沢版DMO

金沢市観光協会を中心とした、金沢ならではの旅行商品づくりや戦略的なプロモーション、人材の育成、民間手法を活用したマーケティングに取り組む観光地域づくりの推進組織。DMOは着地型観光マネジメント組織。(Destination Management Organization)

金沢ぼうさいドットコム

災害警戒時の警報や避難通知、災害発生時の避難所情報などを金沢市民にメールで知らせるサービス。登録料は無料。

金澤町家

本市の歴史・伝統・文化を伝える昭和25年以前の建築物で、伝統的な構造・形態・意匠を有するもの。

既成市街地

都市において、建物が面的に連続して一定密度以上の市街地が形成されている地域。都市計画上では「人口密度が1haあたり40人以上の地区が連坦し、人口が3,000人以上の地域」をいう。

既存ストック

これまでに整備された基盤施設、公共施設や建築物などの都市施設のこと。

狭あい道路

道路の幅が4m未満の狭い道路のこと。建築基準法では、建物を建てる際に4m以上の道路に接していることが義務付けられている。

グリーンインフラストラクチャー

土地利用において自然環境の有する防災や水質浄化などの機能を人工的なインフラの代替手段や補足の手段として有効に活用し、自然環境、経済、社会にとって有益な対策を社会資本の整備の一環として進めようという考え方。

景観地区

景観法により規定される都市計画法上の地域地区のひとつ。市町村は、市街地の良好な景観を形成するため、都市計画に建築物の形態意匠の制限などを規定した景観地区を定めることができる。景観地区内で建築物の建築などをしようとする者は、当該建築物の形態意匠が景観地区の都市計画で定める建築物の形態意匠の制限に適合することについて市町村長の認定を受けなければならない。

公共交通重要路線

金沢市では、公共交通優先のまちづくりの一環として、郊外とまちなかを結ぶ路線のうち、公共交通によるモビリティを優先的に確保すべきバス路線とJR北陸本線、IRいしかわ鉄道、北陸鉄道石川線・浅野川線を公共交通重要路線として位置づけ、運行頻度などの利便性向上を図っている。

耕作放棄地

以前耕地であったもので、過去1年以上作物を栽培せず、この数年の間に再び耕作する考えのない土地のこと。

交通結節点

鉄道の乗継駅、道路のインターチェンジ、自動車から徒歩やその他の交通機関に乗り換えるための停車・駐車施設、鉄道とバスなどの乗り換えが行われる駅前広場のように交通動線が集中的に結束する箇所。

交通弱者

自動車中心の社会において、年少者、要介護者、一部の高齢者及び障がい者などの、自分で運転することができず、自家用の交通手段がないため公共交通機関に頼らざるを得ない人のこと。

交通体系

乗客または荷物の移動に必要な手段と設備で成る施設のこと。体系とは、個々の部分が相互に関連して全体としてまとまった機能を果たす組織体のこと。

高度地区

良好な都市環境を創出するため、建築物の高さを制限する都市計画法上の地域地区の一つ。

こまちなみ

歴史的な価値がある武家屋敷、町家、寺院、その他の建造物を集積し、歴史的な特徴を残す町並み。

コミュニティ

住民相互の連帯意識に基づく人と人とのつながりを基礎とする地域社会。

コミュニティバス

地域での必要目的に合わせてルートや運行形態などを工夫し、より生活に密着した移動手段を提供するバスのこと。

【サ行】

サイクル・アンド・ライド

まちなかへの自動車の流入を抑制して、バス・電車の利用を促進するために、自転車でバス停・駅に来てバス・電車に乗り換えるシステム。

CIQ

税関(Customs)、出入国管理(Immigration)、検疫(Quarantine)のこと。出入国の際に必要とされる三つの手続きの略称。

市街化区域

都市計画法により都市計画で定められる区域区分の一つで、すでに現在市街地を形成しているか、市街化を図るべきと判断されたかのいずれかの区域。

市街化調整区域

都市計画法により都市計画で定められる区域区分の一つで、市街化区域とは反対に市街化を抑制する区域。

市民農園

都市の住民が、レクリエーションや自家用野菜の生産などを目的に、小面積の農地を利用して野菜などを育てるための農園を指す。

斜面緑地

台地または丘陵の斜面の緑地。植林地、草地または坂道などの緑が連続して個性的かつ良好な自然環境を形成している。

住区基幹公園

主として近隣住区(人口8,000人から10,000人程度の住区)内の住民の安全で快適かつ健康的な生活環境およびレクリエーション、休養のためのスペースを確保し、住民の日常的な身近な利用に供するために、近隣住区を利用単位として設けられる基幹的な公園で、その機能から街区公園、近隣公園、地区公園に区分される。

重要伝統的建造物群保存地区

全国各地に残る歴史的な集落・街並みの保全を目的として発足した制度。市町村は、伝統的建造物群保存地区を決定し、地区内の保存事業を計画的に進めるため、保存条例に基づき保存計画を定める。国は市町村からの申出を受けて、我が国にとって価値が高いと判断したものを重要伝統的建造物群保存地区に選定する。

宿泊税

金沢の歴史、伝統、文化など固有の魅力を高めるとともに、市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策に要する費用に充てるための法定外目的税で、宿泊施設の宿泊客に対して課税される。

循環型社会

エネルギーの消費を抑制しながら、ごみ・水・排熱などを資源として地域内で循環して有効利用する、環境にやさしい社会のこと。

水源かん養

雨水等を吸収し、安定的に水を供給することで、洪水や渇水を防止する森林の働き。

ストリートファニチュア

街灯、案内板、彫刻、ベンチ、電話ボックス、バス停など、歩行者に快適さを提供するため、道路上に置かれている備品の総称。

スノーシェッド

山間部の道路や線路などを覆うように建てられた、雪崩を避けるための設備。

スプロール

都市の急激な発展や中心市街地の地価高騰により、地価の安い郊外で無秩序に住宅化が進み、虫食い状態になる現象。

惣構

城下町を取り囲んだ、堀や土居(土手)。金沢城には内・外二重の惣構が造られた。

【夕行】

ダウンサイジング

機器やシステムなどを性能や機能を保ったまま縮小、小型化、小規模化すること。

地区計画

都市計画法に定められた都市計画制度の一つで、住民の生活に身近な地区を単位として、道路・公園などの施設の配置や建築物の建て方などについて、地区の特性に応じてきめ細かなルールを定めるまちづくりの計画。

中山間地域

山間地とその周辺の地域を指す。一般に傾斜地が多いなど農業生産条件は不利であるが、国土の保全、水資源のかん養などの多くの機能を有している。

同報防災無線

設置しているスピーカー（屋外拡声器）により情報を一斉に伝える無線設備のこと。金沢市では市内の小学校、公園などに屋外拡声子局及び市内すべての幼稚園、保育所、小中学校、高等学校、大学、公民館などにラジオ型の戸別受信機を設置し、災害情報や被災時に各種災害情報を一斉伝達するシステムを導入している。

特別用途地区

都市計画法上の地域地区のひとつ。特別の目的から特定の用途の利便の増進又は環境の保護などを図るため、地区の特性や課題に応じて地方公共団体が定める条例で建築規制の強化又は緩和を行うことにより、用途地域の都市計画を補完するために定めたもの。

特別緑地保全地区

都市緑地法に基づき、無秩序な市街地化の防止に資する緑地、歴史的・文化的価値を有する緑地、生態系に配慮したまちづくりのための動植物の生息・生育地となる緑地などの保全を図ることを目的として指定するもの。

都市型産業

集客の必要性など市街地にあることが望ましい、もしくは市街地にあることに問題のない広範な施設・業務の総称。

都市基幹公園

都市公園のうち、都市を計画単位として配置されるものを都市基幹公園といい、総合公園と運動公園が該当する。

都心軸

片町・香林坊から武蔵ヶ辻、さらには金沢駅を経て金沢港に至る、国道157号、金沢駅通り線、金沢駅港線で、本市の中心市街地と新都心を結ぶ動脈。

土地区画整理事業

道路、公園、河川などの公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業。地権者から土地を提供（減歩）してもらい、この土地を公共用地に充てるほか、その一部を売却し事業資金の一部に充てる。

【ナ行】

二次交通

別名、都市内交通ともいい、鉄道駅や空港などの交通拠点と都心部や観光地を結ぶアクセス交通をいう。シャトルバスや乗り合いタクシーの運行、レンタル自転車などが対象。

ノーマライゼーション

社会において、高齢者、身体障害者、知的障害者などを特別な存在としてみるのではなく、すべての人間が普通の生活を送るため、共に暮らし、生きる社会こそが普通の社会であるという考え方のこと。

ノンステップバス

高齢者などが乗降しやすいバスとして開発されたもので、在来型で85cmある車両の床面の高さを35cmと低くして、ステップをなくし直接車内に乗降できる構造となっているバス。

【ハ行】

パーク・アンド・ライド

最寄りの駅やバス停まで自動車で移動し、公共交通機関(主に鉄道やバス)に乗り換えて、目的地まで移動する方法。

ハザードマップ

災害想定区域や避難場所、避難情報の伝達経路、過去の災害実績などを住民にわかりやすく示した図。

パブリックコメント

計画の策定及び条例の制定などの過程において、案の段階で広く公表し、市民からの意見又は提案を求め、寄せられた意見に対する実施機関の考え方を明らかにして、施策などの意思決定に反映させることを目的とした制度。

PPP・PFI

PPPとは、公民が連携して公共サービスの提供を行うスキームのこと。(Public Private Partnership) PFIとは、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用し、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方で、PPPの代表的な手法の一つ。(Private Finance Initiative)

風致地区

都市計画法に定められる地域地区の一つ。自然的要素に富んだ良好な景観を形成しており、都市の土地利用計画、また都市環境の保全を図るため風致を維持するために設けられる。

文化的景観

風土に根ざして営まれてきた人々の生活や生業のあり方を表す景観地のこと。

【マ行】

まちづくり協定

建築物その他の工作物の新築、増築又は改築、土地の区画形質の変更などに関する住民間のルールのこと。住民間で締結される任意協定であり、法的拘束力はない。

無電柱化

電線類地中化や裏配線などにより道路から電柱をなくすこと。防災への寄与、安全で快適な歩行者空間の確保、景観の向上といった効果がある。

モビリティ

自由な行動の可能性(自由な行動のしやすさ)。

【ヤ行】

ユニバーサルデザイン

すべての人が快適に利用できるよう製品や環境などを設計すること。高齢者や障害者にやさしい形や機能はだれにもやさしいものとなることを前提に、普遍性を強調した概念。

用途地域

都市計画法で規定される地域地区で、都市内の土地の合理的利用を図り、市街地の環境の整備、ひいては都市生活の安定、都市機能の向上を目的として建築物の建築を用途および容積などにより規制する制度。用途地域は、第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、田園住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域および工業専用地域の13種類がある。

【ラ行】

ライフサイクルコスト

計画、設計から建設、維持・管理、解体撤去、廃棄にいたる費用すべてのこと。

ライフライン

都市生活の維持に必要な不可欠な電気・ガス・水道・通信・運送などのこと。

歴史的風致

地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境のこと。

歴史都市

地域に残る歴史上価値の高い建造物や歴史的なまちなみ、歴史と伝統を反映した人々の生活や伝統文化が一体となって形成される良好な環境を色濃く残し、それらを活かしたまちづくりを積極的に進めている都市として金沢市が位置づけたもの。

連続立体交差事業

都市部における道路整備の一環として、道路と鉄道との交差点において鉄道を高架化することによって、多数の踏切を一挙に除却し、踏切渋滞、事故を解消するなど、都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業。

6次産業化

生産した農林水産物を活用して新商品を開発し、新たな販路の開拓（輸出を含む）等を行う取り組み。

【ワ行】

ワークショップ

市民が、公園づくりや交通安全、地域福祉イベントなど様々な分野で共同して研究・学習や意見交換、作業を行うことによって、市民の意見が反映されたまちづくりを進めること。

金沢市都市計画マスタープラン

都市計画に関する基本的な方針

発行年／令和元年(2019)年8月

発行／金沢市

編集／金沢市都市整備局 都市計画課

〒920-8577 石川県金沢市広坂1-1-1

TEL 076-220-2353

FAX 076-222-5119

印刷／ヨシダ印刷[印刷株式会社

〒921-8546 石川県金沢市御影町19-1

TEL 076-241-2141



KANAZAWA
CITY PLANNING
MASTER PLAN
2019

金沢市都市計画マスタープラン

金沢市都市整備局 都市計画課

〒920-8577 石川県金沢市広坂1-1-1

TEL/076-220-2353

FAX/076-222-5119

URL/ www4.city.kanazawa.lg.jp/29001/plan/

e-mail : tokei@city.kanazawa.lg.jp